

岡山作文の会会長賞

うんていと まめ

倉敷市立中島小学校

一年生 いわもと みゆな

わたしが 一ばん すきな ゆうぐは、うんてい です。うんていは、たかい ところに ある はしみたい です。入学しきの日に はじめて 見て、もし わたる ことが 一ねんせいで できたら かつこいいと おもい、やってみたく なりました。

ひる休みに はじめて うんていに ぶらさがった とき、あしが ブラブラして とても こわかったです。手は ひっぱられて ちぎれそう でした。かたほうの 手をはなして、まえの ぼうを つかむのは、こわくて ゆう気が いました。さいしよは おちて ばかりで、いやに なりました。

いえに かえって 手を見ると りょうほうの 手に、か

たい ものが たくさん できて いました。

「これなあに。」

と、パパに、きくと、

「まめだよ。」

と、おしえて くれました。

「手に まめが できたの。たべれるの。」

と、わたしは びっくりして ききました。パパは、大きなかえで わらいながら、

「まめは まめでも、たべれる まめでは ないよ。うんていを、がんばった 人に だけ できる もので、がんばったら そのぶん たくさん できるんだ。さいごは、われてちが できるかも しれないよ。」

と、いいました。わたしは すこし こわく なったけれど、そんな まめも 見て みたく なりました。

つぎの日、また うんていを しました。やっと 五こすめて すぐく うれしかった です。手が いたくて なきそ う でした。つぎは さいごまで やるぞ、という 気もちで しました。すると、はじめて さいごまで できました。あしが ずっと ういて いたので、空を とんで いる みたいで

した。手が いたかった けれど、つぎは 一ことばしを し かんじました。

て みました。手を いっぱい ひろげるので、ブランコに のっている ようでした。手が いたい ことを わすれて、 つぎは 二ことばしに チャレンジして みました。さっきよ り、あしや 手が 大きく ゆれて こわく、なかなか さいごまで できませんでした。つぎの日も つぎの日も いっしょうけんめい れんしゅうを して、ようやく できました。すごく うれしくて みんなに 見て もらいたいと おもいました。

いえに かえって 手を 見ると、パパが いったとおり、手に たくさんの まめが できて いました。その まめが われて、かわが おけ、ちが 出^でて いました。いたくて こわく なったけれど、がんばった しょうごだと おもったら うれしくて、みんなに 見せました。パパは、

「みゆな、よく がんばったな。すごいな。こんどの 日^{にち}よう 日^びに パパにも 見せてね。」

と、いい、わたしの あたまを よしよしして くれました。わたしは、うれしくて たまらなく なりました。パパに 見て もらう 日^びよう日^びが まちどおしくて、とても ながく